



報告資料 1 - 1

3 報告

(1) 令和6年度循環器病対策事業について

目次

ア 令和6年度事業実施報告について

- (ア) 神奈川県脳卒中・心臓病等総合支援センター事業
- (イ) 心臓リハビリテーション推進事業
- (ウ) 心臓リハビリテーション設備整備事業
- (エ) 普及啓発
- (オ) その他
- (カ) 循環器病の救急医療

イ 心臓リハビリテーション実態調査結果について

ア 令和 6 年度事業実施報告について

ア 令和6年度事業実施報告について

(ア) 神奈川県脳卒中・心臓病等総合支援センター事業

【事業概要】

県民が安心して、日常生活圏で循環器病の医療や相談支援を受けることができるよう、相談支援体制の整備及び医療連携体制を強化し、地域の包括的な支援体制を構築する

【事業内容】

東海大学医学部附属病院（R5年度国モデル事業実施）に委託し、①～②を実施

①患者・家族等の相談支援窓口の設置（対面、電話、メール等）

東海大学医学的附属病院 患者支援センター総合相談室

開設日・時間 月～金 9:00～15:00

第1、3、5土曜日 9:00～12:00（祝日・休診日を除く）

②地域の医療機関、かかりつけ医を対象とした研修・勉強会等の開催

【令和7年度事業】

受託医療機関を公募予定

ア 令和6年度事業実施報告について

【周知・広報】

○ポスター作成

神奈川県脳卒中・心臓病等総合支援センター周知ポスター 1,000部作成
(効果的に周知するため、ナッジを活用)

○県ホームページ作成

7月神奈川県脳卒中・心臓病等総合支援センターのページを新たに作成



ア 令和 6 年度事業実施報告について

(イ) 心臓リハビリテーション推進事業

【事業概要】

地域医療や人材育成の中心的な役割を担う
「心臓リハビリテーション強化指定病院」の人件費を補助する

対象経費：強化指定病院事業の実施に必要な経費（人件費）
交付対象者：市町村

【結果】

- ・ 川崎市で実施中（令和 7 年度まで予定）

ア 令和6年度事業実施報告について

(ウ) 心臓リハビリテーション設備整備事業

【事業概要】

心臓リハビリテーションの実施医療機関を増やすため、医療機関に対して機器整備費の経費を補助する

交付対象者：県内に所在する病院等の開設者

補助対象：施設基準上求められている運動負荷装置及び運動負荷装置試験装置
上記の導入に係る設置費、運搬費（保守及び補償に係る費用は対象外）
単なる機器の買い替えは対象外

補助率：1/2 1医療機関当たり450万（上限）

ア 令和 6 年度事業実施報告について

(ウ) 心臓リハビリテーション設備整備事業

【結果】

- 4/23～6/3 令和 7 年度事業希望調査実施
- 7 月 8 医療機関を選定（新規 2 か所、増設 6 か所）
- 6～7 月 注力すべき医療圏の医療機関にヒアリング実施
- 10～11月 心臓リハビリテーション実態調査実施
「イ 心臓リハビリテーション調査結果について」にて説明
- 1 月 心臓リハビリテーション設備整備事業説明会開催
令和 7 年 1 月 15 日（水）、23 日（木）
参加者：26 医療機関、60 名参加

ア 令和6年度事業実施報告について

○ライトアップ

令和6年8月10日（土）

（健康ハートの日）

県庁本庁舎を**レッド**にライトアップ



Kanagawa Prefectural Government

令和6年10月29日（火）

（世界脳卒中デー）

県庁本庁舎を**ブルー**にライトアップ



ア 令和6年度事業実施報告について

○ 産業保健と連携した講演会（令和6年10月8日（火））

「健康起因事故を防ぐために！知っておきたい心疾患の基礎と予防」セミナー

対象：運転業務を行う企業や事業者の就労者及び労務・健康づくり担当者、
運転業務従事者、県民

共催：独立行政法人労働者健康安全機構神奈川産業保健総合支援センター

会場：ハイブリッド（オンライン、上記センター）

参加者：オンライン95名 現地3名 計98名

講演内容	講師	会場
放っておくと怖い！生活習慣病 ～健診結果のsos、見逃していませんか～	北里大学医学部 循環器内科 医局長 亀田 良 氏	神奈川産業保健総合支援 センター 研修室 及びオンライン (ハイブリッド形式)
ドライバーのための食生活のアドバイス	東京労災病院治療就労両立支援センター 管理栄養士 平澤 芳恵 氏	

ア 令和6年度事業実施報告について

○循環器病対策セミナー

対象者

- ・ 県民
- ・ 在宅医療・介護従事者
- ・ 医療従事者

委託業者

株式会社tvkコミュニケーションズ

神奈川県

循環器病対策セミナー

心臓や血管に関わる循環器病は、現代社会において誰もが直面し得る病気です。日常生活のストレスや生活習慣の積み重ねが大きく影響しています。循環器病について皆さんで考えてみませんか。

参加無料 事前申込制

2024年11月22日(金) 18時～20時25分

18:05～18:45 第1部講演 在宅医療・介護従事者向けオンラインセミナー
在宅医療・介護従事者のための基礎からわかる脳卒中の病態、病型、症状
講師：西山 和利 氏
北里大学医学部 脳神経内科学教室・主任教授

19:25～20:05 第2部講演 医療従事者向けオンラインセミナー
心臓リハビリテーションの重要性ー過去・現在・未来ー
講師：明石 嘉浩 氏
聖マリアンナ医科大学 循環器内科学 主任教授

申し込み方法は画面へ
申込締切 11月11日(月)

2024年11月30日(土) 14時～17時(開場13時)

14:05～14:50 第1部講演
脳と脳血管の病気を知って脳卒中を防ごう
講師：阿久津 二夫 氏
北里大学医学部 脳神経内科学 講師

15:00～15:45 第2部講演
心疾患の基礎知識ー疾患の種類、症状と治療、リハビリの重要性ー
講師：明石 嘉浩 氏
聖マリアンナ医科大学 循環器内科学 主任教授

15:55～16:40 第3部講演
今日からできる循環器疾患予防のための生活習慣
講師：荒木田 美香子 氏
川崎市立看護大学 専任教授

会場情報・申し込み方法は画面へ
申込締切 11月11日(月)

主催：神奈川県健康医療局保健医療部 がん・疾病対策課 / 後援：公益社団法人 神奈川県医師会
〒251-8588 神奈川県横浜市中区日本大通1

申し込み方法

インターネットでのお申し込み

奈川県のサイトより応募フォームに必要事項を入力の上、ご応募ください。
URL: <https://www.pref.kanagawa.jp/osirase/1383/jyunkankibyoutaisaku/index.html>

はがきでのお申し込み

便はがきに「氏名・フリガナ・郵便番号・住・電話番号・メールアドレス・年代・講演にわけるご質問(任意)・参加する日時(11月日(金)・30日(土))・参加人数」をご記入の上、下記の宛先までお送りください。

220-0024
浜市西区西平沼町6-1 tvk ecom park
株式会社tvkコミュニケーションズ内「循環器病対策セミナー事務局」係まで

申込締切 11月11日(月) 消印有効

オモテ
2200024

ウラ
氏名・フリガナ・郵便番号・住所・電話番号・メールアドレス・年代・講演にわけるご質問(任意)・参加する日時(11月22日(金)・30日(土))・希望人数

個人情報の取り扱いについて 応募により取得した個人情報は、本セミナー開催に際してのみ使用させていただきます。セミナー終了後速やかに破棄いたします。

民向け講演会 会場

ジョンセンター横浜みなとみらい

奈川横浜浜市西区みなとみらい3-6-1
などみらいセンタービル7F(受付)

会場までのアクセス
みなとみらい線「みなとみらい駅(4番出口→4b出口)」徒歩0分。駅直結です。

● JR京浜東北線・根岸線、市営地下鉄ブルーライン「桜木町駅」北口から徒歩11分。

問い合わせ 循環器病対策セミナー事務局(株式会社tvkコミュニケーションズ内)
電話：045-663-9955(平日10時～17時)

ア 令和6年度事業実施報告について

○県民向け（令和6年11月30日（土））

参加者：81名

講演内容	講師	会場
脳と脳血管の病気を知って脳卒中を防ごう	北里大学医学部 脳神経内科学教室 講師 阿久津 二夫氏	ビジョンセンター横浜 なとみらい（7F）
心疾患の基礎知識 一疾患の種類、症状と治療、リハビリの重要性一	聖マリアンナ医科大学 循環器内科学 主任教授 明石 嘉浩氏	
今日からできる循環器病予防のための生活習慣	川崎市立看護大学 副学長 荒木田 美香子氏	

ア 令和6年度事業実施報告について

○在宅医療・介護従事者・医療従事者向け（令和6年11月22日（金））

参加者：第1部 69名
第2部 66名

講演内容	講師	会場
【第1部】在宅医療・介護従事者向け 在宅医療・介護従事者のための基礎からわかる脳卒中の病態、病型、症状	北里大学医学部 脳神経内科学教室 主任教授 西山 和利氏	WEB（zoom）開催
【第2部】医療従事者向け 心臓リハビリテーションの重要性 ー過去・現在・未来ー	聖マリアンナ医科大学 循環器内科学 主任教授 明石 嘉浩氏	

ア 令和6年度事業実施報告について

(オ) その他

○ 県民意識調査（「県民ニーズ調査」を活用）

R6年9月 調査開始
R7年2月 結果公表

- ・ 循環器病に関する認知度の設問（令和5年度と同設問項目で実施）
 - ① **脳卒中の主な初期症状について知っていることについて**
 - ② **脳卒中は発症後すぐに医療機関で適切な治療を行えば、
後遺症を含め予後が改善される可能性が高まることについて**
 - ③ **心臓病の再発を防ぐため、治療後のリハビリテーション
が重要であることについて**

ア 令和6年度事業実施報告について

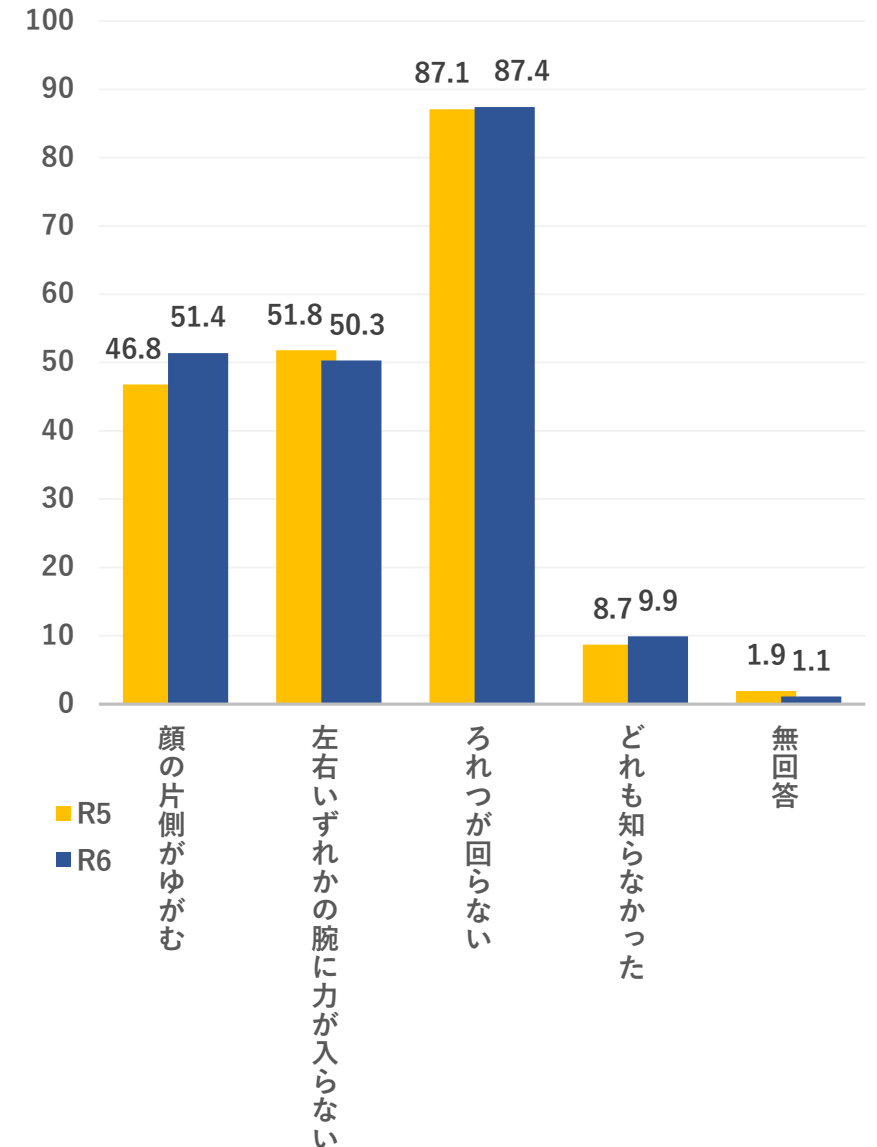
県民意識調査の結果

①脳卒中の主な初期症状について、知っているものを選んでください。(○はいくつでも)

顔の片側がゆがむ	左右いずれかの腕に力が入らない	ろれつが回らない	どれも知らなかった	無回答
609	596	1036	117	13
51.4%	50.3%	87.4%	9.9%	1.1%

「ろれつが回らない」は9割近くの県民に認知されている。

「どれも知らなかった」と回答した人の割合は、女性より男性の方が多く、最も多かったのは、男性20歳代である。



ア 令和6年度事業実施報告について

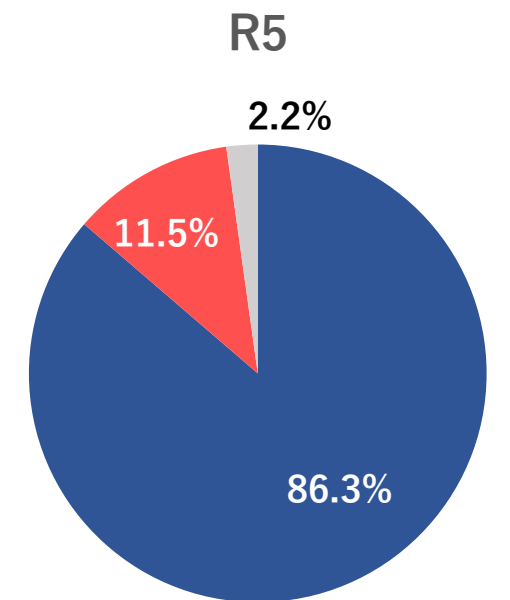
県民意識調査の結果

②脳卒中は、発症後すぐに救急車を呼ぶなど、医療機関で適切な治療を行えば、後遺症を含めたその後の状態が改善される可能性が高まることを知っていますか。(○は1つ)

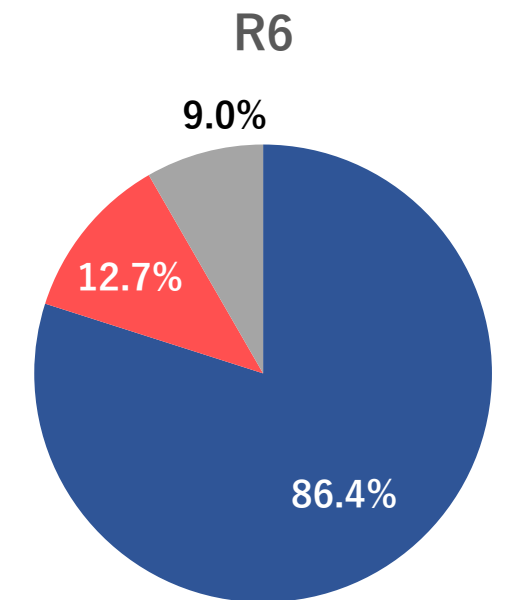
知っている	知らなかった	無回答
1,024	150	11
86.4%	12.7%	0.9%

「知っている」と回答した人は9割近くいて、昨年度調査の結果からは横ばいである。

「知らなかった」と回答した人の割合が最も多かったのは、男性20歳代以下である。



■ 知っていた ■ 知らなかった ■ 無回答



■ 知っていた ■ 知らなかった ■ 無回答

ア 令和6年度事業実施報告について

県民意識調査の結果

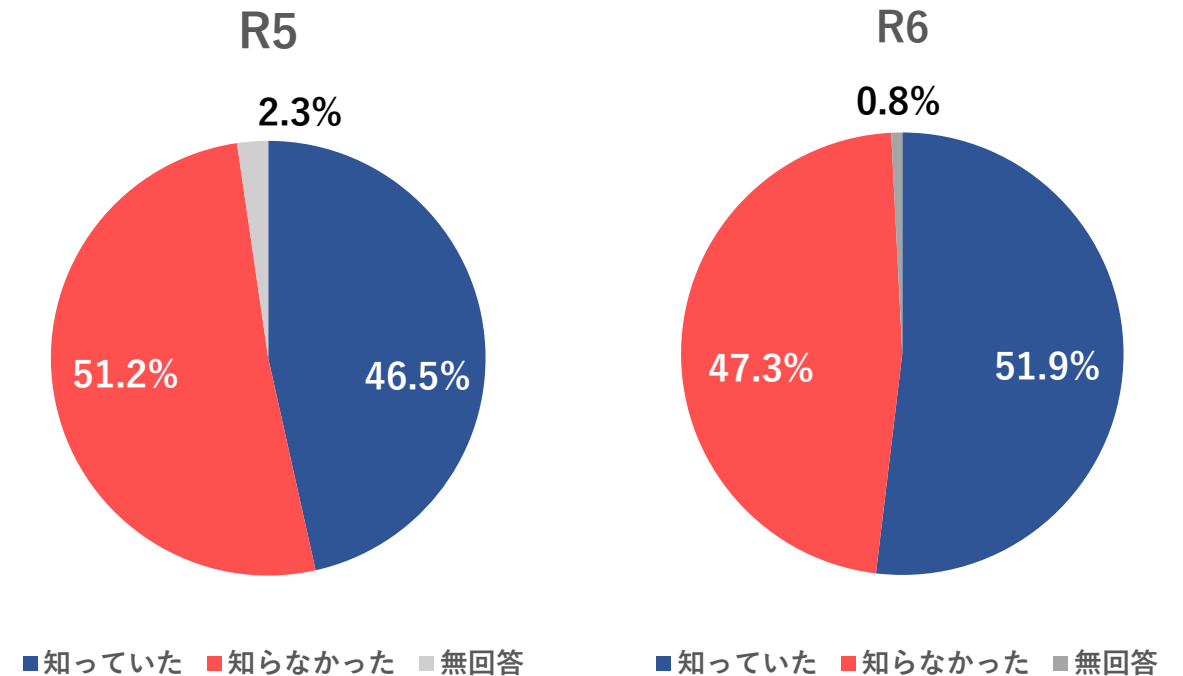
③心臓病は、ひとたび発症すると再発率が高いという特徴があります。再発を防ぐためには、治療後の適度な運動療法を中心としたリハビリテーションが重要であることを知っていますか。(○は1つ)

知っている	知らなかった	無回答
615	561	9
51.9%	47.3%	0.8%

5割以上の県民が「知っている」と回答していて、昨年度の調査結果より認知度が上昇している。

「知らなかった」と回答した人の割合が最も多かったのは、男性30歳代である。

Kanagawa Prefectural Government



ア 令和6年度事業実施報告について

(力) 循環器病の救急医療

a 令和6年度の調査について

○令和6年4月に「医師の働き方改革」が施行され、
各医療機関の実態把握が必要であるため、調査を実施する

【調査項目】

- 各医療機関の医師等の体制
- 働き方改革による人員体制の維持
- 救急対応の体制
- 等

調査期間	調査対象	回答率
10月～11月	93病院 「循環器系領域」の 手術を行っている病院	58.1% (54/93施設)

ア 令和6年度事業実施報告について

ｂ 昨年度の調査結果からわかる傾向との比較

調査項目	回答	急性心筋梗塞		急性大動脈剥離		急性心不全	
		R5	R6	R5	R6	R5	R6
過去一か月の基本的な救急対応（施設体制）について	24時間100%受け入れられる	62% (31/50施設)	66% (31/47施設)	36.2% (17/47施設)	28.6% (12/42施設)	66% (33/50施設)	71.4% (35/49施設)
上記施設のうち							
働き方改革の施行による体制の影響について	受け入れ体制の縮小	25.8% (8/31施設)	9.7% (3/31施設)	41.1% (7/17施設)	0% (0/12施設)	30.3% (10/33施設)	8.6% (2/35施設)

○ 昨年度調査結果との比較による、働き方改革による体制の影響については、有意な傾向はみられなかった。

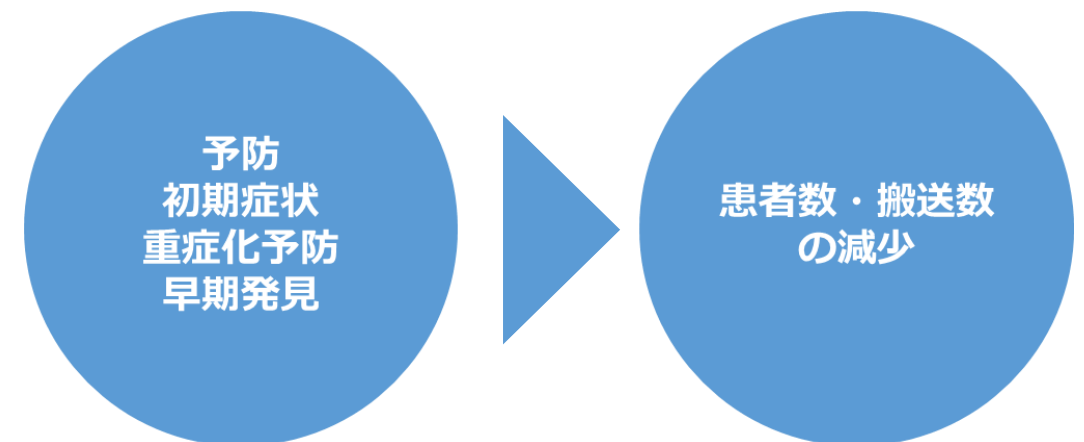
○ 調査項目及び結果の詳細は報告資料 1 – 3のとおり

ア 令和6年度事業実施報告について

c 今後の方針について

- 救急医療体制の整備に関しては、県として救急全体の課題として捉え、**関係部署と協議しながら対策を講じていく。**
- 今後の調査についても、**関係部署と協議しながら進めていく。**

⇒県では、**循環器病の予防・初期症状や救急要請等に関する正しい知識の普及啓発や重症化予防等**、現在の体制でできることから進めていく。



イ 心臓リハビリテーション実態調査結果について

イ 心臓リハビリテーション実態調査結果について

調査結果まとめ

調査対象	回答率
93病院 「循環器系領域」の 手術を行っている病院	58.1% (54/93施設)

- 心大血管疾患リハビリテーション(Ⅰ)(Ⅱ)届出施設は7割弱
- 入院心リハを80～100%実施は約5割、未実施約3割
- 外来心リハを80～100%実施は1割弱、未実施5割弱
- 入院心リハを実施していない理由は約2割が「必要性がない」
- 外来心リハを実施していない理由は約1.5割が「必要性がない」
- 県の補助事業を「知らなかった」約4割
「申請したい・話を聞いてみたい」約5割
- 心リハを推進していくために必要なことは
「かかりつけ医を含めた医療連携」
「各医療圏での現状や課題の共有・議論」 「医療従事者への普及啓発」 等

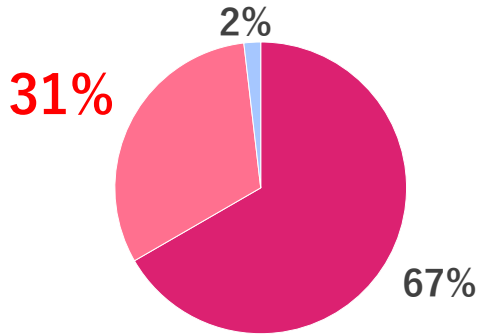
イ 心臓リハビリテーション実態調査結果について

心大血管疾患リハビリテーション(Ⅰ)(Ⅱ)の届出施設は36か所(66.7%)
入院の心リハを80~100%実施している施設は28か所(51.9%)、実施していない病院は16か所(29.6%)
外来の心リハを80~100%実施している施設は5か所(9.3%)、実施していない病院は、25か所(46.3%)

(1) 心大血管疾患リハビリテーションの届出について
心大血管疾患リハビリテーションの届出施設ですか(複数回答可)

1 心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	36	66.7%
2 心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅱ)	1	1.9%
3 届出していない	17	31.5%

54



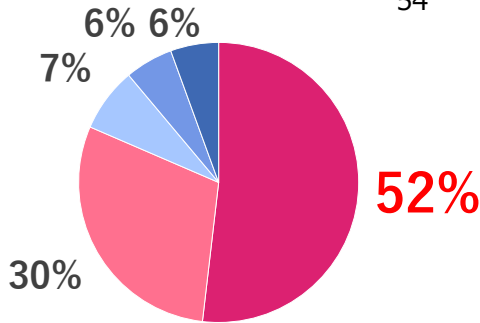
- 1 心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
- 3 届出していない
- 2 心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅱ)

Kanagawa Prefectural Government

(2) 心大血管疾患リハビリテーションを実施について
ア)入院の心大血管疾患リハビリテーションを実施していますか

1 80~100%実施している	28	51.9%
2 60~80%実施している	3	5.6%
3 30~60%実施している	4	7.4%
4 30%未満実施している	3	5.6%
5 実施していない	16	29.6%

54

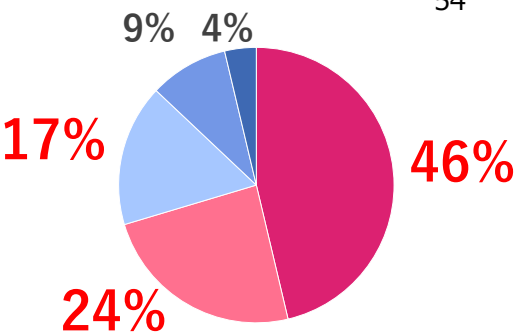


- 1 80~100%実施している
- 5 実施していない
- 3 30~60%実施している
- 2 60~80%実施している
- 4 30%未満実施している

イ)外来の心大血管疾患リハビリテーションを実施していますか

1 80~100%実施している	5	9.3%
2 60~80%実施している	2	3.7%
3 30~60%実施している	9	16.7%
4 30%未満実施している	13	24.1%
5 実施していない	25	46.3%

54



- 5 実施していない
- 4 30%未満実施している
- 3 30~60%実施している
- 1 80~100%実施している
- 2 60~80%実施している

イ 心臓リハビリテーション実態調査結果について

入院の心リハを実施していない理由は、
「必要性がない」11か所（20.4%）
「場所や設備が不十分」10か所（18.5%）

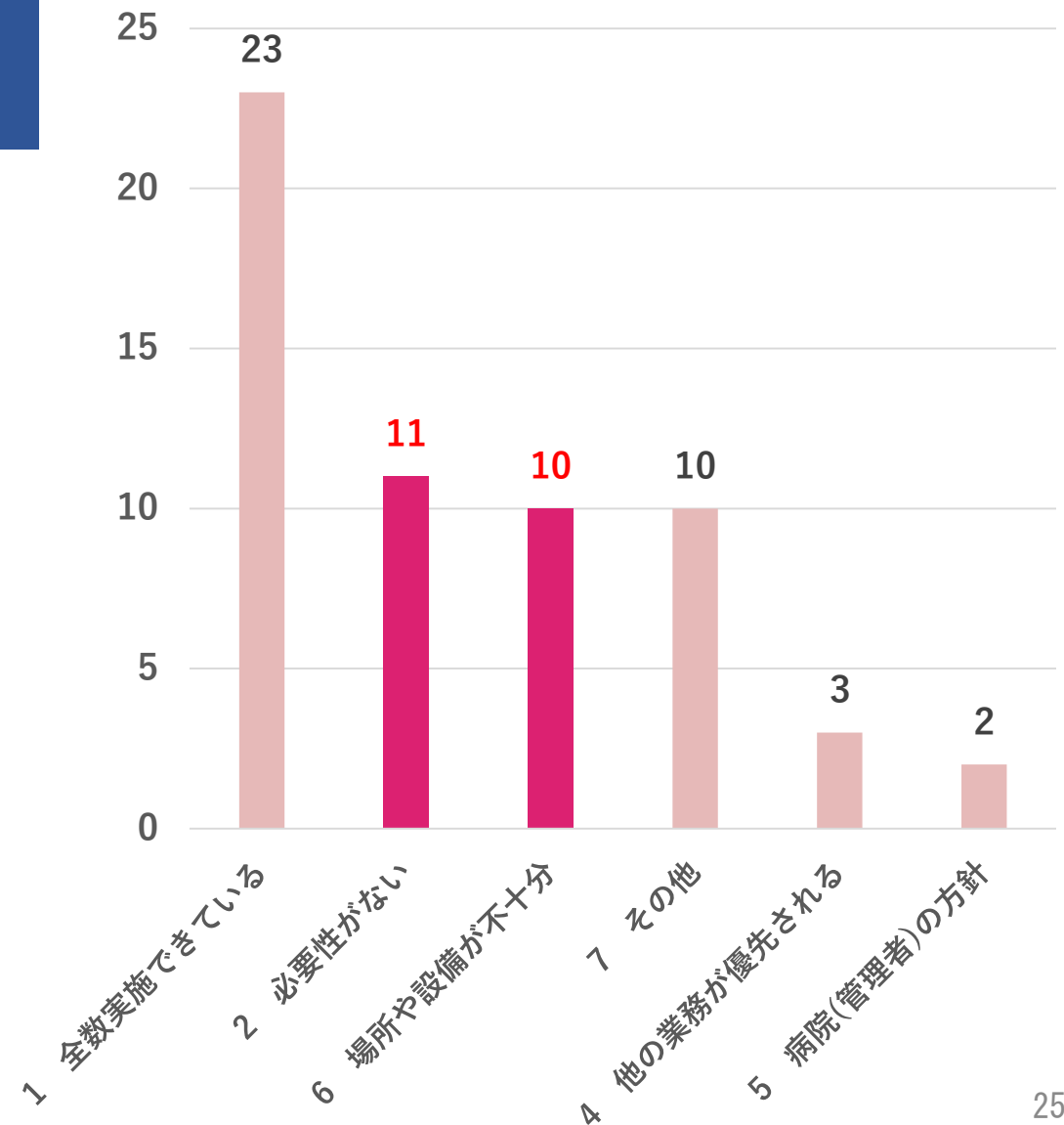
ウ)入院の心大血管疾患リハビリテーションを実施していない理由を回答してください(複数回答可)

1 全数実施できている	23	42.6%
2 必要性がない	11	20.4%
3 効果が不明確	0	0.0%
4 他の業務が優先される	3	5.6%
5 病院(管理者)の方針	2	3.7%
6 場所や設備が不十分	10	18.5%
7 その他	10	18.5%

54

【その他回答について】

現在届け出の準備中で、今後届け出の予定
主科から依頼がない、嚥下障害などの合併があり、他の疾患別リハで算定している
実施に向けて院内検討中
主治医からの積極的なオーダーが無い
検査入院の患者等は入院期間が短くリハ依頼が出ないことがある
循環器内科医師の常勤がいないため、受け入れができない
管理する医師が不在
小児病院の為対象外
医師の方針
実施する時間帯を満たす十分な患者がいない



イ 心臓リハビリテーション実態調査結果について

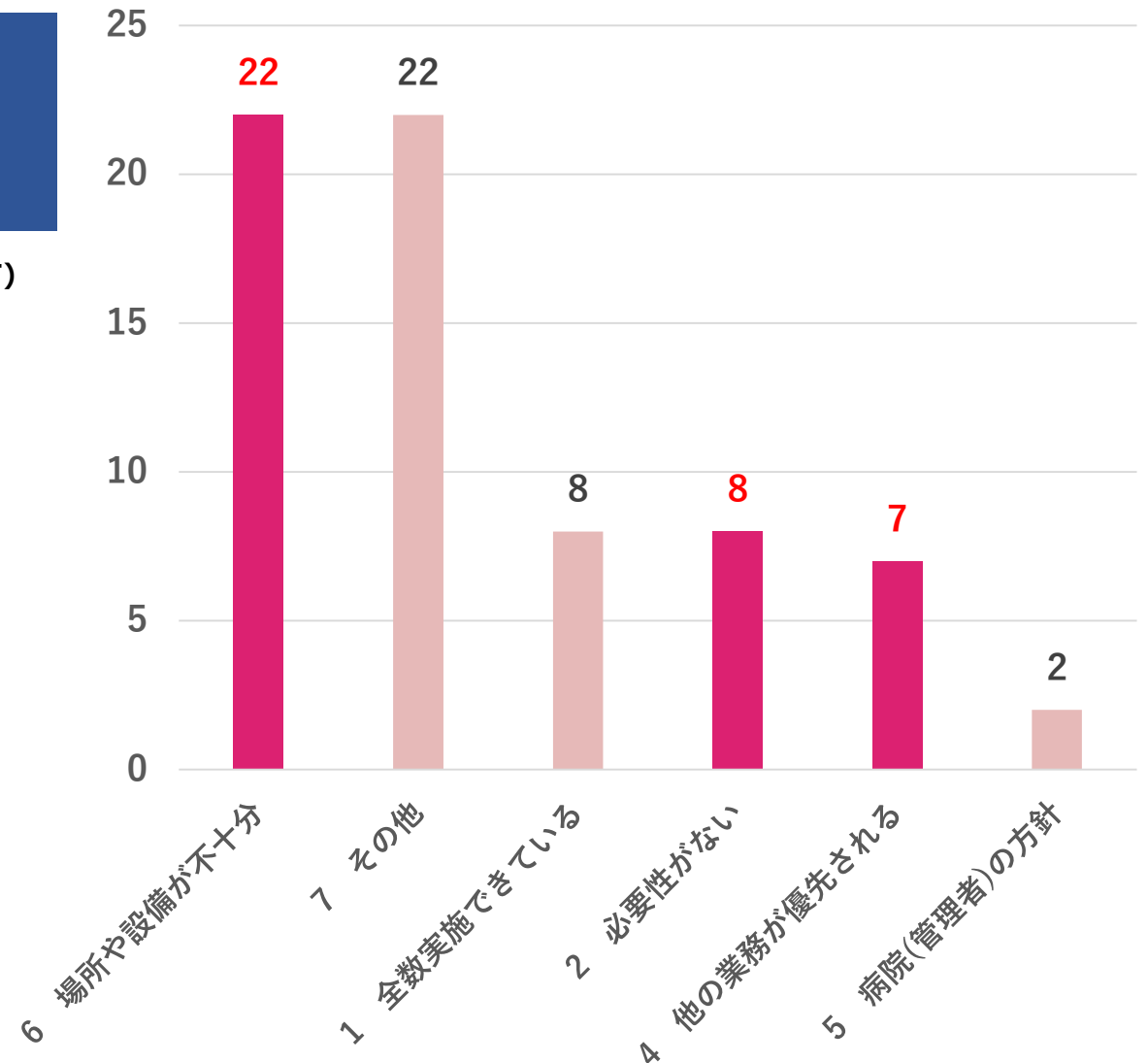
外来の心リハを実施していない理由は、
「必要性がない」 8 か所（14.8%）
「他の業務が優先される」 7 か所（13.0%）
「場所や設備が不十分」 22 か所（40.7%）

エ) 外来の心大血管疾患リハビリテーションを実施していない理由を回答してください(複数回答可)

1 全数実施できている	8	14.8%
2 必要性がない	8	14.8%
3 効果が不明確	0	0.0%
4 他の業務が優先される	7	13.0%
5 病院(管理者)の方針	2	3.7%
6 場所や設備が不十分	22	40.7%
7 その他	22	40.7%

54

(その他回答についてはスライド27)



イ 心臓リハビリテーション実態調査結果について

【その他の回答】

●医師サイド

主治医からの積極的なオーダーが無い（回答数 2）

医師の方針

患者都合や医師が不要と判断

●患者サイド

外来リハビリテーションの必要性についての患者の理解（回答数 2）

通院困難（回答数 4）

介護や施設入所のため通院困難（回答数 3）

就労中のため通院困難

患者が希望しない

実施する時間帯を満たす十分な患者がいない

●院内調整

現在届け出の準備中で、今後届け出の予定
実施に向け院内検討中

●人員体制

常勤の管理できる循環器内科医師不在（回答数 2）

医師、療法士、看護師の不足

人員不足

入院を優先しており、外来に回せるほどの人的リ
ソースがない

イ 心臓リハビリテーション実態調査結果について

心リハを実施していく上で困っていることや課題について、
「医療従事者の不足・不在」33か所（61.1%）
「患者側の要因で実施できない」24か所（44.4%）

オ)日本心臓リハビリテーション学会認定の心臓リハビリテーション指導士がいますか

1 2人以上いる	29	53.7%
2 1人いる	8	14.8%
3 いない	17	31.5%

54

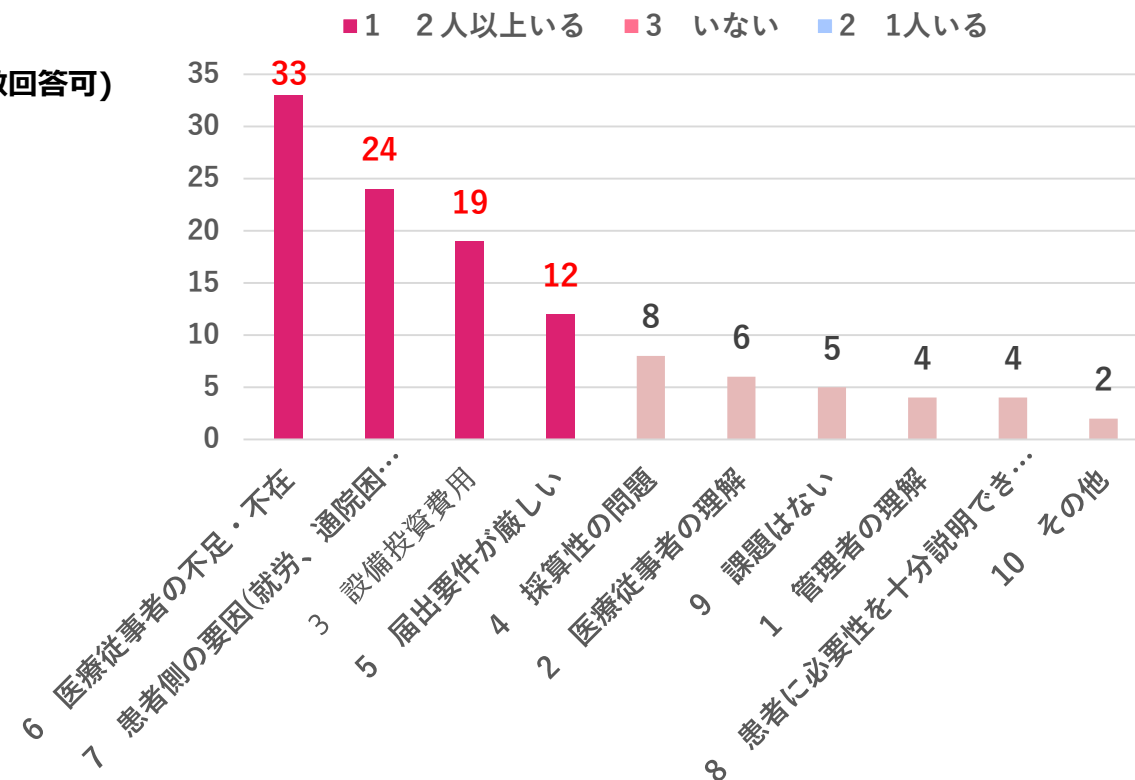
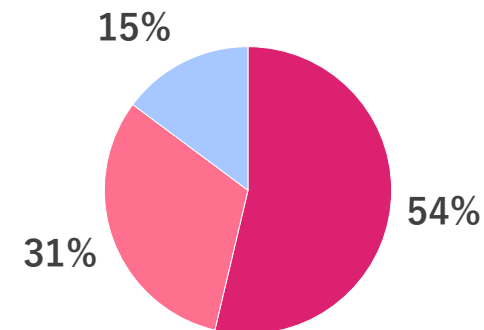
カ)心大血管疾患リハビリテーションを実施していく上で困っていることや課題を回答してください(複数回答可)

1 管理者の理解	4	7.4%
2 医療従事者の理解	6	11.1%
3 設備投資費用	19	35.2%
4 採算性の問題	8	14.8%
5 届出要件が厳しい	12	22.2%
6 医療従事者の不足・不在	33	61.1%
7 患者側の要因(就労、通院困難、要介護等)で実施できない	24	44.4%
8 患者に必要性を十分説明できていない	4	7.4%
9 課題はない	5	9.3%
10 その他	2	3.7%

54

【その他の回答】

現在届け出の準備中で、今後届け出の予定
CPX実施件数が少ない



イ 心臓リハビリテーション実態調査結果について

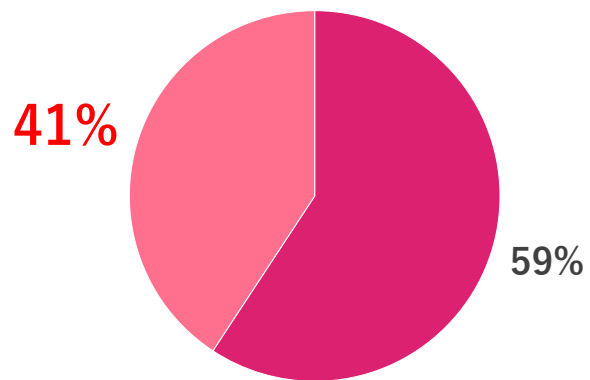
県の補助事業について、
「知らなかった」22か所（40.7%）、「申請したい・話を聞いてみたい」25か所（46.3%）

（3） 神奈川県補助事業について

ア)神奈川県では、令和5年度から、心大血管疾患リハビリテーションを新設、増設する医療機関を対象に、対象機器の一部補助をする事業を行っていますが、ご存知でしたか

1 知っていた	32	59.3%
2 知らなかった	22	40.7%

54

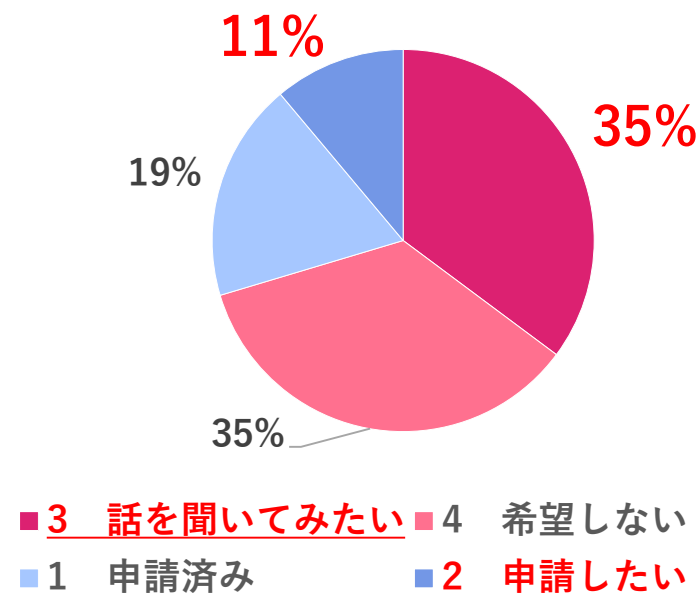


■ 1 知っていた ■ 2 知らなかった

イ)上記の補助事業を検討したいと思いますか

1 申請済み	10	18.5%
2 申請したい	6	11.1%
3 話を聞いてみたい	19	35.2%
4 希望しない	19	35.2%

54



■ 3 話を聞いてみたい ■ 4 希望しない
■ 1 申請済み ■ 2 申請したい

イ 心臓リハビリテーション実態調査結果について

心リハを推進していくために必要なことは、
 「かかりつけ医を含めた医療連携」27か所（50.0%）
 「各医療圏での現状や課題の共有・議論」23か所（42.6%）
 「医療従事者への普及啓発」21か所（38.9%）

（４） 心大血管疾患リハビリテーションを推進について

心大血管疾患リハビリテーションを推進していくために、どんなことが必要だと思いますか(複数回答可)

1 管理者の理解	14	25.9%
2 医療従事者の理解	18	33.3%
3 設備投資費用の補助	37	68.5%
4 場所(院内スペースの)の確保	36	66.7%
5 医療従事者の確保	42	77.8%
6 かかりつけ医を含めた医療連携	27	50.0%
7 各医療圏での現状や課題の共有・議論	23	42.6%
8 各医療圏で中心となるようなハブ医療機関	16	29.6%
9 医療従事者への普及啓発	21	38.9%
10 県民(患者)への普及啓発	18	33.3%
11 必要なことはない	1	1.9%
12 その他	4	7.4%

【その他の回答】

有資格者の処遇向上

介護保険分野への心臓リハビリ拡充

従事者が他の疾患別リハビリテーション科も実施できるなど要件緩和

